

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 3 月 12 日 (2009.3.12)

【公開番号】特開 2008-134639 (P2008-134639A)

【公開日】平成 20 年 6 月 12 日 (2008.6.12)

【年通号数】公開・登録公報 2008-023

【出願番号】特願 2007-310135 (P2007-310135)

【国際特許分類】

G 0 2 B 6/42 (2006.01)

H 0 1 L 27/15 (2006.01)

H 0 1 L 31/0232 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 6/42

H 0 1 L 27/15 C

H 0 1 L 27/15 D

H 0 1 L 31/02 D

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 1 月 26 日 (2009.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板と、

前記基板上に設けられた第 1 乃至第 3 の光導波路と、を具備する光伝送基板であって、
前記第 2 の光導波路が前記第 1 及び第 3 の光導波路の間に位置するように配置され、
前記第 1 および第 3 の光導波路の光伝搬方向を第 1 の方向に設定するとともに、前記第
2 の光導波路の光伝搬方向を前記第 1 の方向と反対方向である第 2 の方向に設定した光伝
送基板。

【請求項 2】

請求項 1 記載の光伝送基板と、

前記第 1 乃至第 3 の光導波路の一端側に接続される第 1 乃至第 3 の光素子と、
をさらに具備する半導体装置。

【請求項 3】

前記第 2 の光素子は、前記第 1 及び第 3 の光素子の間の領域に配置されるとともに、
前記第 1 の光素子と前記第 3 の光素子とを結んだ仮想直線上に対してずれた位置に配さ
れている請求項 2 記載の半導体装置。

【請求項 4】

前記第 1 乃至第 3 の光素子が一体的にアレイ状に設けられる請求項 3 記載の半導体装置
。

【請求項 5】

請求項 2 乃至 4 のいずれかの半導体装置と、
前記基板上に設けられ、前記第 1 乃至第 3 の光素子と電気的に接続される電子集積回路
素子と、
をさらに具備する光電子集積回路装置。

【請求項 6】

前記第 1 および第 3 の光素子が発光素子の場合、前記第 2 の光素子が受光素子であり、
前記第 1 および第 3 の光素子が受光素子の場合、前記第 2 の光素子が発光素子であるこ
とを特徴とする請求項 5 に記載の光電子集積回路装置。